



Design

号外

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌“Design”の号外第4号です。平成30年もあと1ヶ月で終わろうとしています。年々1年が過ぎるのが速いと感じています。なぜでしょうか。ご存知の方がおられましたら、教えてください。

改めまして、今年1年間、お世話になりました。今年は6月頃より、地域の皆様からのご紹介（入院）が増加したこともあり、個人的には、地域包括ケアシステムの中での役割をグッと押し進められた感があります。今年1年を簡単に振り返りたいと思いますので、お付き合い下さい。裏面は、地域の皆様からのお問い合わせ件数の報告です。

- 3月、**直通電話（0774-73-1818）**を開設しました。
- 4月、親しみやすい病棟を目指し、地域包括ケア病棟に愛称をつけました。愛称は、院内公募し、“**彩り（いろどり）**”に決定しました。
- 同じく4月、『**地域包括ケア病棟“彩り”第1回 事例紹介・情報交換会**』を開催し、地域の皆様に多数ご参加頂きました。
- 6月より、**傾聴ボランティア**の受け入れをはじめました。
- 11月、地域包括ケア病棟“彩り”**紹介動画**の作成開始。（完成しましたら、お知らせします）
- 11月、『**地域包括ケア病棟“彩り”第2回 事例紹介・情報交換会**』を開催しました。（1月号のDesignで報告させていただきます）



振り返ると、“魅せ方”にこだわった1年だったと思います。“魅せる”ことが、地域の皆様に広く、地域包括ケア病棟“彩り”を知って頂く機会となり、結果として、地域の皆様からのご紹介に繋がったのではないかと考えています。

平成31年も引き続き、地域の皆様のご要望に応えられるよう頑張りますので、地域包括ケア病棟“彩り”をよろしくお願ひします。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

～地域包括ケア病棟“彩り”を上手くご活用下さい（ご提案）～

○ 他の医療機関に入院（治療、リハビリ）しているが、在宅で受け入れするための準備期間が欲しい。

⇒ 地域包括ケア病棟“彩り”で一旦受け入れし、在宅支援のお手伝いをさせていただきます。治療の内容や具体的な準備期間など詳細をお知らせ下さい。

○ 老健やましろを紹介したが、老健やましろに空きがない。

⇒ 地域包括ケア病棟“彩り”で一旦受け入れし、“彩り”で老健やましろへの入所の段取りをします。患者さんの病状やADLについてお知らせ下さい。

○ 介護施設のショートステイの空きがなく、困っている。

⇒ まずはご相談下さい。ご希望の日数などをお知らせ下さい。

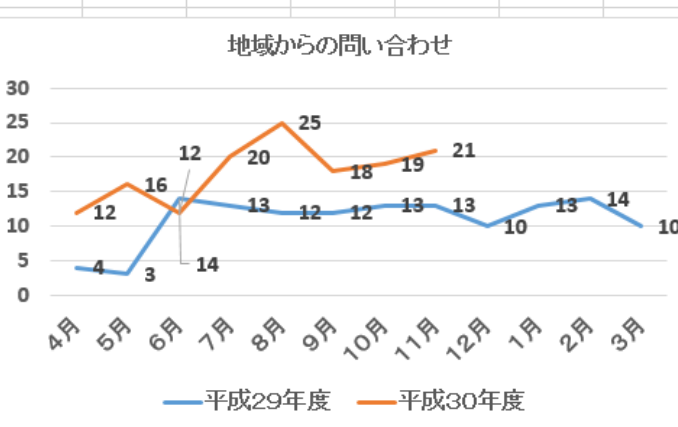
地域医療連携室より

～地域からの問い合わせ状況の報告～

平成29年度と平成30年度（4～11月）の、地域からの問い合わせの状況を下図にお示しします。ご覧の通り、平成30年度は平成29年度と比較してほぼ毎月、問い合わせの件数が増えています。毎月の平均では、平成29年度は約11件でしたが、平成30年度は現在のところ、約18件となっています。問い合わせの内容は、ご入院を前提とした問い合わせから、対象者や空床状況に関するものまで様々ですが、1ヶ月の稼働日のほぼ毎日、問い合わせを頂戴している計算になります。



図にはお示ししていませんが、問い合わせ元は、平成29年度は約20%が在宅医の先生方、約30%が地域のケアマネジャーの方々、約50%が「その他」となっていました。平成30年度は現在のところ、13%が在宅医の先生方、47%が地域のケアマネジャーの方々、40%が「その他」となっており、地域のケアマネジャーの方々からの問い合わせの割合が増加しています。（問い合わせ元のうち、「その他」は、他医療機関やご家族などからの問い合わせです。）どのような些細なことでも結構です。可能な限り、迅速に対応させていただきますので、下記までお問い合わせ下さい。



（地域医療連携室 室長 南出 弦）

お気軽に直通電話までお問い合わせ下さい。

0774-73-1818（担当：中野・中嶋）